

(様式2)

群馬県環境GS (Gunma Standard)  
平成29年度実績報告・平成30年度継続申請書

申請書記入者： 妙義 三郎

平成30年 4月1日

※ 提出期間は、4月1日から6月30日までの間とします

事業者	名称 (ふりがな)	( かぶしががいしゃ あかぎせいさくしよ ) 株式会社 赤城製作所		
	代表者職名・氏名 (ふりがな)	( だいひょうとりしまりやく あかぎ たろう ) 代表取締役 赤城 太郎		
	所在地	〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 (電話：027-000-0000 FAX：027-000-0000 ) (メールアドレス：gs@pref.gunma.lg.jp )		
	GS認定番号	180000	従業員数	12人

必ず内容を  
確認の上、  
チェックをお  
願います。

事業内容、環境GSマネージャー等の変更がある場合のみ、別紙を提出してください。

次の内容を確認の上、□に○を記入（もしくは■）してください。

自己又は自己の団体の役員等は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者には該当しません。

次に該当する場合は、「実績と新たな目標」以降の欄の記入を省略することができます。

エコアクション21認証登録事業者（最新の環境活動レポートの写しを添付）

群馬県地球温暖化防止条例による排出削減計画書・状況報告書提出対象事業者（最新の写しを添付）

## 1 実績と新たな目標

指標 (単位、原単位の場合は算定式)	電気使用量 ( kWh )	ガソリン使用量 ( l )	( )
① 平成28年度実績値	42,000	8,500	
② 平成29年度実績値	41,700	8,230	
③ 短期目標 (平成29年度当初設定した値)	41,580	8,410	
短期目標達成状況	達成・未達成	達成・未達成	達成・未達成
実績－短期目標 (②－③)	120	-180	
新たな短期目標 平成30年度(今年度)	41,280	8,140	
長期目標 平成 年度	39,900	8,000	
削減総量(※)	300 kWh	270 l	

(※) 指標を数量で記載している場合は、①－②。指標に原単位を用いている場合は、総量に換算後の数値を記入してください。

(様式2)

群馬県環境GS (Gunma Standard)  
平成29年度実績報告・平成30年度継続申請書

申請書記入者： 荒船 四郎

※ 提出期間は、4月1日から6月30日までの間とします

平成30年 4月1日

事業者	名称 (ふりがな)	( かぶしがいしゃ はるなしょうてん ) 株式会社 榛名商店		
	代表者職名・氏名 (ふりがな)	( だいひょうとりしまりやく はるな じろう ) 代表取締役 榛名次郎		
	所在地	〒371-8570 前橋市大手町〇-〇-〇 (電話：027-000-0000 FAX：027-000-0000 ) (メールアドレス：gs@pref.gunma.lg.jp )		
	GS認定番号	190000	従業員数	25人

必ず内容を  
確認の上、  
チェックを  
お願いします。

事業内容、環境GSマネージャー等の変更がある場合のみ、別紙を提出してください。

次の内容を確認の上、□に○を記入（もしくは■）して下さい。

自己又は自己の団体の役員等は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者には該当しません。

次に該当する場合は、「実績と新たな目標」以降の欄の記入を省略することができます。

エコアクション21認証登録事業者（最新の環境活動レポートの写しを添付）

群馬県地球温暖化防止条例による排出削減計画書・状況報告書提出対象事業者（最新の写しを添付）

## 1 実績と新たな目標

※以下は原単位による指標の一例です。（例）電力の排出係数固定を併記した場合

指標 (単位、原単位の場合は算定式)	軽油使用量原単位 (ℓ/出荷額百万円)	電力消費量CO2原単位 (t/出荷額百万円)	電力消費量CO2原単位 (排出係数固定) (t/出荷額百万円)
① 平成28年度実績値	270	0.827	0.827
② 平成29年度実績値	265	0.783	0.805
③ 短期目標 (平成29年度当初設定した値)	267	0.819	0.819
短期目標達成状況	達成・未達成	達成・未達成	達成・未達成
実績－短期目標 (②－③)	-2	-0.036	-0.014
新たな短期目標 平成30年度(今年度)	263	0.775	0.797
長期目標 平成年度	255	0.720	0.744
削減総量(※)	4,500ℓ	40トン (CO2)	20トン (CO2)

(※) 指標を数量で記載している場合は、①－②。指標に原単位を用いている場合は、総量に換算後の数値を記入してください。

(様式2)

## 2 取組実績・評価 (効果が大きい上位5項目を記載。その他は別紙記載可。)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| ① エコドライブ教育の実施と、車両別燃費管理。             |
| ② 高効率照明 (LED 電球) への更新。              |
| ③ 空調管理の適正化 (サーキュレーター導入、加湿器・除湿器の併用)。 |
| ④ コンプレッサのインバーター化・台数制御の導入。           |
| ⑤ ゴミの分別収集を推進する。                     |

### [総合評価を簡潔に記載]

環境G S マネージャーを中心に、温室効果ガス排出削減に向けた社内の取組体制が整備され、生産工程における「無駄取り」は徹底されてきた。

この取組みの中で各工程でのエネルギー消費量が明確となったため、環境G S 省エネ診断員派遣等を活用しつつ、生産工程の見直しや省エネ設備への更新の検討など、さらなるレベルアップを目指したい。

## 3 今年度の取組内容 (別紙記載可)

1. 省エネルギー	①電力について、「対前年度比〇〇%削減」などの目標を設定し、特に節電の取組を強化する。
	②空調管理において、湿度のコントロール(夏期除湿、冬期加湿)を適切に実施し、執務環境の快適性維持と省エネを両立する。
	③グリーンカーテンや外付けブラインド・よしずの設置など、遮熱対策により夏期空調負荷を軽減する。
	④照明リースなども活用し、高効率照明への大規模更新を行う。
	⑤自動車、フォークリフト等を低燃費のものに更新する。
2. 廃棄物減量化	①梱包緩衝材のリサイクルの徹底、通い箱を導入。
	②ゴミの分別収集を推進する。
3. その他	①年に2回社内環境研修を実施する。
	②部門別、機器別のエネルギー使用量の把握に努め、省エネ手法の情報収集や省エネ診断の実施を検討する。
	③リースやレンタルなど、初期投資負担が無く導入できる省エネ機器・手法に関する情報収集に努める。

(別紙)

※下記事項に変更がある場合のみ提出してください(変更がない項目は記載不要です)。

事業内容	※許可が必要な場合は(許可番号: )	
参考情報	資本金	千円
	延べ床面積	m <sup>2</sup>
	ISO14001 エコアクション21 グリーン経営 その他 ※取得している場合は○で囲ってください	
	資料送付方法	環境GS関連の資料をメールで受け取る場合は、ご担当者様が日々の業務において確認可能なPCメールアドレスをご記入ください。 (メールアドレス gs@pref.gunma.lg.jp) ※県では、省資源化を推進するため、メールを活用した情報提供等を行っております。 ※メールアドレスは環境GS関連の情報発信以外の目的には使用しません。
環境GSマネージャー	職	総務部長
	氏名	榛名次郎
環境GSサブマネージャー	職	総務課長
	氏名	妙義三郎
環境GSサブマネージャー	職	業務課長
	氏名	荒船四郎
<b>環境基本方針</b> (地球温暖化防止等、環境に配慮した事業活動の推進に関する基本的な考え方) <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>		

通信欄 (ご意見・ご要望等ありましたらご記入ください)

- ・「環境GSマネージャー研修会」や「環境GSニュース」において、「〇〇〇」について取り上げて欲しい。
- ・「GS事業者の横顔」に取り上げて欲しい。
- ・「環境GSマネージャー研修会」の事例発表者として、我が社の取組を発表したい。